

NU-UoE JD and JSPS CtC joint workshop on "New Horizons in Chemistry and Materials Science"

開催期間：2019年7月1日~3日

開催場所：名古屋大学物質科学国際研究センター

主催者：NU- UoE JD workshop committee

共催者・後援者等：JSPS CtC

参加人数：88人

【活動報告】

名古屋大学のジョイントディグリーの連携校であるエディンバラ大学との連携強化の一環として、名古屋大学理学研究科物質理学専攻が中心となり、本年度もワークショップを開催した。エディンバラと名古屋大学だけでなく、エディンバラ大学と京都大学の共通プログラムである JSPS の Core to core メンバーが今回のワークショップを共催とする形で加わったことで、台湾国立大学、台北科学技術大学、京都大学、東京大学、北見工業大学からも招へい者を迎えることが出来、賑やかに議論をすることが出来た。

口頭発表では、発表者全員が、非常に優れたレベルの高い招待講演を実施した。特にエディンバラの教授および若手グループリーダーには講演時間 30 分と少し長い発表をお願いしたが、非常に興味深い研究を聞くことができ活発な質疑応答、議論がなされた。また、全体のバランス時間から若手の研究者には 15 分と短い講演時間となってしまったため、研究の紹介が中心となったが、こちらにも、大変興味深い研究のシーズを見つけることの出来る議論がなされた。

名古屋大学からも、エディンバラ大学とのジョイントディグリーに参加している理学研究科物質理学専攻（化学科）の教員がすべての研究室から、少なくとも 1 名は研究発表を行う形をとり、名古屋大学での優れた研究を発信することが出来た。

理学研究科物質理学専攻ならびにエディンバラ大学理工学部は、ナノカーボン研究や有機ならびに酸化エレクトロニクスの世界的研究拠点として共に認知されており、ワークショップは、この研究教育連携関係をさらに発展させるもので、当該分野の世界的な発展にも資することは間違いない。また、アジアでの著名校である国立台湾大学、台北科学技術大学からも参加者を迎えたことで、本学のアジアにおけるハブ大学としての地位を高めることができた。

エディンバラ大学の学生および名古屋大学の学生によるポスター発表では、海外からの招待講演者および、国内招待講演者全員にポスター発表の評価者になっていただき、ポスターの内容及び、受け答えなどを評価していただいた。名古屋大学の学生は、ポスター審査員と活発な議論を展開し、5 点満点中、全員が 4.5 点獲得するという高い評価を得た。これは今後、海外での研究集会への参加する機会や、海外での経験・生活を積むに際して、貴重な経験として活かされると確信している。



今回のように国際会議を名古屋大学で開催する意義の一つとして、学生が国際会議と言う場に立ち会い、また個人的に接触ができたことは今後役に立つ経験であったと思われる。

今回のように国際会議を名古屋大学で開催する意義の一つとして、学生が国際会議と言う場に立ち会い、また個人的に接触ができたことは今後役に立つ経験であったと思われる。